

地球温暖化対策計画書

2019年7月31日

(提出先)
横浜市長

住所 横浜市西区高島二丁目12番6号

氏名 株式会社崎陽軒
代表取締役社長 野並 直文

(法人の場合は、名称及び代表者の氏名)

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第1項の規定により、次とおり提出します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の名称 及び代表者の氏名	株式会社 崎陽軒 体表取締役社長 野並 直文					
主たる事業所の所在地	〒220-0011 横浜市西区高島二丁目12番6号					
主たる事業の業種	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者				
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）				
原油換算エネルギー使用量	6,414	k1	市内全事業所数	6	事業所	
	原油換算エネルギー使用量が500k1以上の事業所数		3	事業所		
自動車の台数	台					

2 計画期間

計画期間	2019 年度～ 2021 年度
------	------------------

3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

[基本方針] 全社的に省エネを推進していく中で、電気・ガスの節減を徹底すると共にLED照明・厨房の電化導入や老朽化した設備機器・器具の効率化を図っていく。
[主要なエネルギー使用設備の更新等の検討] ①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 ボイラーエネルギー ②上記①の設備を選択した理由 ボイラーは、主なエネルギー使用設備としてジャスト1号館（平成8年に1台、平成21年に2台）、ジャスト3号館（平成21年に3台）、横浜工場（平成21年に4台）更新を実施しております。 ③設備更新スケジュール 安定した設備性能を維持するために、不具合発生部分は保守スケジュールの中で更新しております。 平成8年に更新したジャスト1号館のボイラー1台を2019年度中に更新予定です。今後3台体制を維持するか更新スケジュールの中で2台体制へ変更するか、使用エネルギーの効率化を含め検討します。

細則第37号様式（第2条第48号）
(総括票)

4 公表の方法

<input type="checkbox"/> ホームページ	アドレス	
<input checked="" type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所	株式会社 崎陽軒 ヨコハマジャスト1号館8階不動産部
	所在地	神奈川県横浜市西区高島二丁目12番6号
	閲覧可能時間	10:00-17:00
<input type="checkbox"/> その他		

5の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

	特定温室効果ガス排出量			削減率	原単位		
基準年度 (2018年度)	基礎※1	12,340	t-CO ₂	0.1 %	基準原単位	269.02	t-CO ₂ /千m ²
	調整後※2	12,157	t-CO ₂		目標原単位	268.64	t-CO ₂ /千m ²
目標年度 (2021年度)	基礎	12,323	t-CO ₂	1.0 %	削減率	0.1 %	
	調整後	12,036	t-CO ₂				
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	目標年度2021年までの3年間においては、基準排出量に対し0.1%の削減率を目標といたします。主な要因として各拠点での増減差がございます。主力工場の横浜工場では平成29年5月から稼働した弁当製造により生産エリアの拡大と使用エネルギーが増加しCO ₂ 排出量がガス・電気で計4.1%増加すると見込んでおります。一方でジャスト1号館、ジャスト3号館では7.3%、3.7%のCO ₂ 排出量削減目標とし、全社としては僅かではありますが温室効果ガスの排出量を抑制する計画であります。						

※1 基準年度におけるエネルギーの種類ごとの二酸化炭素排出係数（電気事業者から供給された電気の排出係数は基礎排出係数）を使用すること。

※2 基準年度におけるエネルギーの種類ごとの二酸化炭素排出係数（電気事業者から供給された電気の排出係数は調整後排出係数）を使用し、「6 クレジットに関する取組状況」における特定温室効果ガス削減相当量の合計値を差し引くこと。

5の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

	特定温室効果ガス排出量			削減率	原単位		
基準年度 (2018年度)	基礎		t-CO ₂	%	基準原単位		t-CO ₂ /
	調整後※3		t-CO ₂		目標原単位		t-CO ₂ /
目標年度 (2021年度)	基礎		t-CO ₂	%	削減率		%
	調整後※3		t-CO ₂				
排出の抑制に係る目標の設定の考え方							

※3 基礎排出量から「6 クレジットに関する取組状況」における特定温室効果ガス削減相当量の合計値を差し引くこと。

細則第37号様式（第2条第48号）
(総括票)

6 クレジットに関する取組状況

番号	クレジットの名称	特定温室効果ガス削減相当量 [t-CO ₂]	備考
1			
2			
3			
4			
5			
	合計		

7 設備の新設、更新等の計画

照明設備	計画期間での実施予定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	まとまった本数の更新は難しいが、照度が落ちてきた既存LED照明から更なる高効率なLED照明への更新を行います。
再エネ設備	計画期間での実施予定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	
上記以外	計画期間での実施予定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	ジャスト1号館で平成8年に導入したボイラー1機を2019年度中に更新予定です。また既存設備については設備保守を中心に、本来機器設備が持つ能力を発揮できるように保守スケジュールの中で実施します。

8 次世代自動車の導入状況及び計画

計画期間での導入予定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無			
次世代自動車の種別	電気自動車	プラグインハイブリッド車	燃料電池自動車	合計
計画期間での導入予定台数[台]				
保有台数[台]				

